

事例5 災害時における代替路としての林道の活用

(中部森林管理局 木曾森林管理署)



- ・長野県木曾郡(きそぐん)王滝村(おうたきむら)
御岳御厨野林道(おんたけみまいのりんどう)
- ・(左) 御岳御厨野林道の図面
(右) 地域住民を先導する木曾森林管理署の車両(令和3年8月)

令和3年8月の大雨により王滝川が増水し村道が崩落したため、王滝村滝越地区の住民が孤立し、翌日防災ヘリコプターで避難しました。王滝村より木曾森林管理署に対し、村道が復旧するまで御岳御厨野林道を代替路として活用したいとの要請があり、同署は王滝村と合同で当該林道の安全性等を確認し、路面の一部を補修した上で、代替路として活用することとしました。

当該林道を活用した避難住民の一時帰宅にあたっては、林道走行に不慣れた地域住民に配慮し、同署の職員が路面状況を確認しつつ慎重に先導し、事故のないよう対応しました。

今回の対応を踏まえ、同署では王滝村ほか3町村と「山地災害発生時等の連携に関する協定」を結び、国有林において山地災害等が発生した場合に、村道等が通行不能になった際に国有林の林道を代替路として活用できるなど、同署が迅速に支援する事項を定めて、災害に対応できるように備えています。